

接合金物・カット事業に参入

傘下のFCCで標準化

21世紀住宅研究所

INAXトステムグループの住宅FCC事業を統括する中間持ち株会社の21世紀住宅研究所（東京都、富澤則夫社長）は、傘下の木造軸組系の住宅FCC4系列の躯体に接合金物工法を本格的に採用していく方針を決めた。金物工法プレカットについてはトステム（東京都、菊池光男社長）に発注するが、同社では北海道、沖縄を除く全国での供給加工体制を構築、既存の同社の工場スペースを活用し、8カ所程度の金物工法プレカットラインを整備していくことになる。

21世紀住宅研究所は、昨年7月にINAXトステムグループの住宅FCC会社の再編にあたり、住宅FCCの総合的な戦略などについて担当していく中間持ち株会社の新たな会社として設立された。

INAXトステムグループでは、資産化できる家を事業目的としており、長期間にわたって良い品質を保てる住宅を供給していくこと、そのためには構造躯体の資産化を念頭に、構造用集材+接合金物を標準仕様化していく方針を決めた。

傘下のFCCには木造軸組系のアイフルホームテクノロジ（年間上棟数6600棟、240店）、プライトホーム（同700棟、60店）、ワンダーホーム（同30棟、8店）、ゴイイングホーム（同300棟、20店）と2X4系のジーエルホーム（同300棟、30

店）と全体で約8000棟の供給規模を持つ。このうち2X4系のジーエルホームを除く4系列のFCCの標準仕様を接合金物工法に切り替える。

INAXトステムグループでは、これを受けて既存の製造工場等の空きスペースなどを活用し、全国8拠点での金物工法プレカットを実施していく。接合金物は21世紀住宅研

究所で開発したオリジナル2スリットタイプで、関東地区では供給工場も稼働。施主の了解の下で接合金物工法に変更しての施工検証を始めており、来年4月頃には本格的に接合金物工法に切り替えていく。ただし、あくまでも強制ではなく、加盟店・施主の了解によって導入を図っていく計画のため、部分的に在来プレカットを使用するケースも残るものと想定している。

4系列の住宅FCCが一気に金物工法へシフトすることで年間7000棟近くの木造住宅が金物工法化され、金物工法の普及が本格化することも予想される。

研究所で開発したオリジナル2スリットタイプで、関東地区では供給工場も稼働。施主の了解の下で接合金物工法に変更しての施工検証を始めており、来年4月頃には本格的に接合金物工法に切り替えていく。ただし、あくまでも強制ではなく、加盟店・施主の了解によって導入を図っていく計画のため、部分的に在来プレカットを使用するケースも残るものと想定している。

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
東京都江東区冬木23-4
(〒135-0041)
編集営業・電話 03-3820-3500
FAX 03-3820-3519
総務販売・電話 03-3820-3511
FAX 03-3820-3518
http://www.n-mokuzai.com/
info@n-mokuzai.com
購読料 半年 36,000円
©日刊木材新聞社 2004



日高機械
株式会社
〒925-0212 石川県羽咋郡志賀町徳田
TEL.0767-37-1311 / FAX.0767-37-1558



田辺鉄工所
株式会社
本社：〒920-0844 石川県金沢市小橋町5番35号
TEL.076-252-0124 / FAX.076-252-0125
工場：〒925-0157 石川県羽咋郡志賀町堀松
TEL.0767-32-3663 / FAX.0767-32-3866